

一般会計の歳入と歳出の特徴

歳入

市税は6千832万円の増

歳入の根幹である市税は、前年度予算額27億7千525万円に対し、今年度予算額が27億4千357万円となり、6千832万円の増額となりました。

これは、前年度より市民税が約3億9千479万円の増額、固定資産税が1億9千996万円の減額、市たばこ税が約7千754万円の減額となることなどを見込んでいます。

市税の収納率については滞納整理など積極的に取り組み、平成28年度は94.8%と前年度を上回っており、今後も収納体制の強化に努めさらなる収納率の向上を目指します。

市債は11億2千100万円の増

主に建設事業を行うために借り入れる市債

市税収入の推移データ (平成29・30年度は予算額)



平成30年度の内訳は、固定資産税が約48%、市民税(個人)が約30%、市民税(法人)が約8%となっています。

ネーミングライツによる 広告収入について

平成30年度当初予算額 13,500千円

施設名	愛称
白鳥アリーナ	白鳥王子 アイスアリーナ
緑ヶ丘野球場	とましんスタジアム
市民文化公園	出光 カルチャーパーク
沼ノ端 スケートセンター	ダイナックス沼ノ端 アイスアリーナ

扶助費は約1.7%の増

高齢者・児童・生活困窮者などを援助するための経費である扶助費は、保育所費の増などにより、前年度比約1.7%増の約3億8千282万円増額となりました。

公債費は約1.3%の減

施設建設などのために借り入れた市債を返済する経費である公債費は、市債発行額の適正管理を図ってきました。償還金利子の金利低下などの影響で、前年度比約1.3%減の約9千740万円減額となりました。

普通建設事業費は約18.0%の増

学校、道路、公園などの整備を行うための経費である普通建設事業費は、全体として前年度比約18.0%増の約17億754万円の増額となりました。これはウトナイ中学校新築事業や啓北中学校校舎・屋内体育館改築事業などの大型事業費が増加したことによるものです。

今後も予算の効率的・効果的な執行に努め、財政の健全性を確保しながら、さまざまな課題に対応できる柔軟な財政運営を目指していきます。